

データ入稿前チェック

- ☐ 提出ファイルは合っていますか？
 - ・完全データ ai（イラストレーター）
 - ・デザイン・白版確認用 PDF
- ☐ 専用テンプレートを使用していますか？
（テンプレートを崩さないように作成してください）
- ☐ カラーモードは CMYK ですか？
- ☐ 文字はアウトラインされていますか？
- ☐ 画像は埋め込みされていますか？
- ☐ 白版はマゼンタ（100%～0%）のみで作成されていますか？
- ☐ 編集不可レイヤーにデザインをいれていませんか？
- ☐ 特色は使用していませんか？
- ☐ 印刷可能範囲をはみ出していませんか？
（デザインは印刷可能範囲まで、はみ出す場合はマスクでカット）
- ☐ 総インキ量＝最大 300 を超えていませんか？
（画像生成の QR コードの黒はインキ総量 300 を超えることが多いため、ご注意ください。）
- ☐ 画像解像度は 350dpi 以上になっていますか？
- ☐ QR・JAN コードの下に白版はありますか？
（背景透明の場合、白引きがないと読み取れない可能性があります）
- ☐ QR・JAN コードの位置は、ボトルの形状の凹み部分に被っていませんか？
（フィルムはボトルの形状に沿って圧着するため、凹み部分に被ると、コードが読み込めなくなる場合があります。ボトルアタリの凹み位置に配置しないようご注意ください。）
- ☐ ミシン目の左右 5mm を開けてデザインを配置してありますか？
（カット用ミシン目の付近はミシン目位置がずれることがあるため、ミシン目付近にロゴやキャラクター等ミシン目がかかっているといけないデザイン要素は配置しないようご注意ください。）

※弊社ではデザイン内容に関するチェック・校閲等を行いませんので以下につきましては十分にご確認の上、ご入稿願います。

- ☐ 知的財産基本法（著作権、商標権、肖像権など）を遵守し、オリジナルのデザインを作成している。
- ☐ 誤字脱字、スペルミスはない。
- ☐ 画像は正しい画像を使用している。
- ☐ 不要なイラストや文字が残っていない。
- ☐ QR・JAN コードがある場合、コードの内容に間違いはない。

【白版とは】

透明なフィルムに印刷するため、透過を抑えたい部分には背面に白を印刷する必要があります。

※デザイン上では「白版」部分の色はマゼンタ（M100%～0%）となります。

【白版のパターンと指示方法】

● 全面白版印刷あり

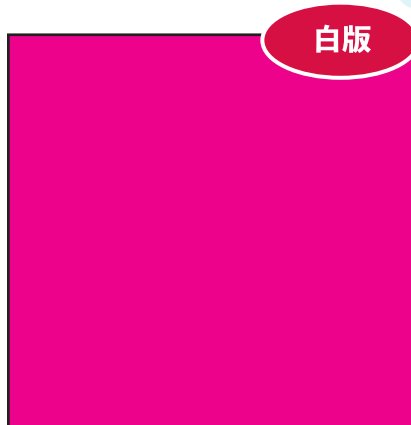
特に白版を指定していただく必要はありません。

〔白版〕レイヤーは編集や削除はせず、残しておいてください。

不透明にしたい場合

【全面白引き有り…】
にチェックを入れる

<input checked="" type="checkbox"/>	【全面白引き有り（濃度）】 ※背景を含むデザイン要素全
<input type="checkbox"/>	【透明無地・色味が透け】 ※デザインの一部が透明や色
<input type="checkbox"/>	【白引き無し】：フォーマット ※背景を含むデザイン要素全



● 白版印刷なし

〔白版〕レイヤーの白版指示データは削除しておいてください。

透明にしたい場合

【白引き無し】
にチェックを入れる

<input type="checkbox"/>	【全面白引き有り（濃度）】 ※背景を含むデザイン要素全
<input checked="" type="checkbox"/>	【透明無地・色味が透け】 ※デザインの一部が透明や色
<input type="checkbox"/>	【白引き無し】：フォーマット ※背景を含むデザイン要素全



● 一部分のみ白版印刷あり

背景のデザインは透過させたいが、自社のロゴやキャラクターをくっきり見せたい場合などはこちらのパターンになります。

テンプレートの初期白版指示データは削除していただき、

新しく白を印刷する部分の白版指示データを M100%～0%で作成してください。

一部だけ透明に
したい場合

【透明無地・色味が…】
にチェックを入れる

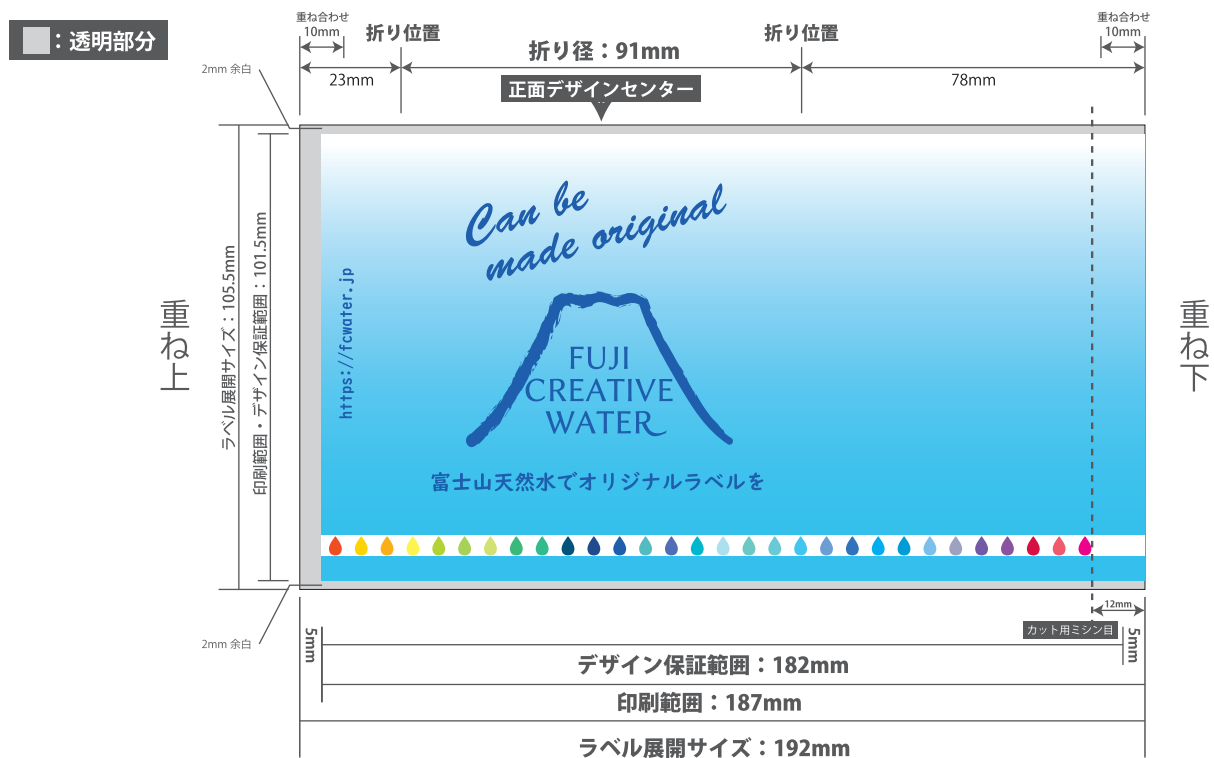
<input type="checkbox"/>	【全面白引き有り（濃度）】 ※背景を含むデザイン要素全
<input checked="" type="checkbox"/>	【透明無地・色味が透け】 ※デザインの一部が透明や色
<input type="checkbox"/>	【白引き無し】：フォーマット ※背景を含むデザイン要素全



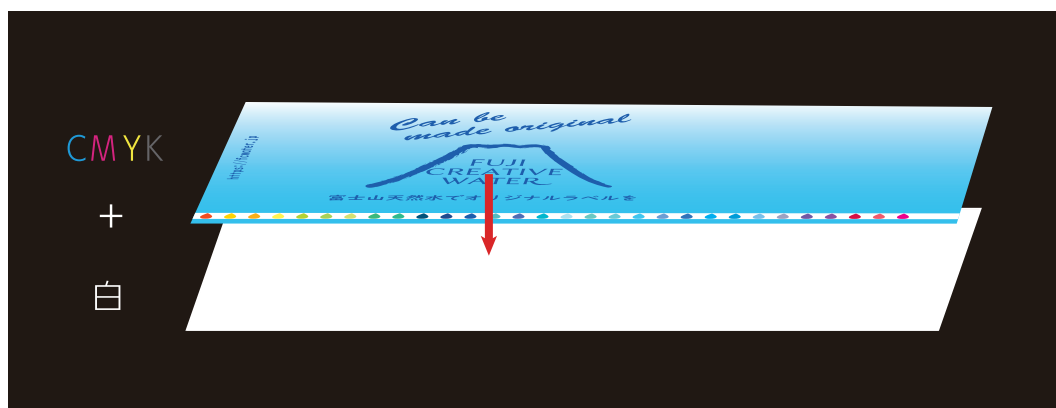
※文字だけで指定ではミスが発生する恐れがあります。必ず Illustrator 上のオブジェクトで指定してください。

【全面白版印刷ありの例】

【デザイン】



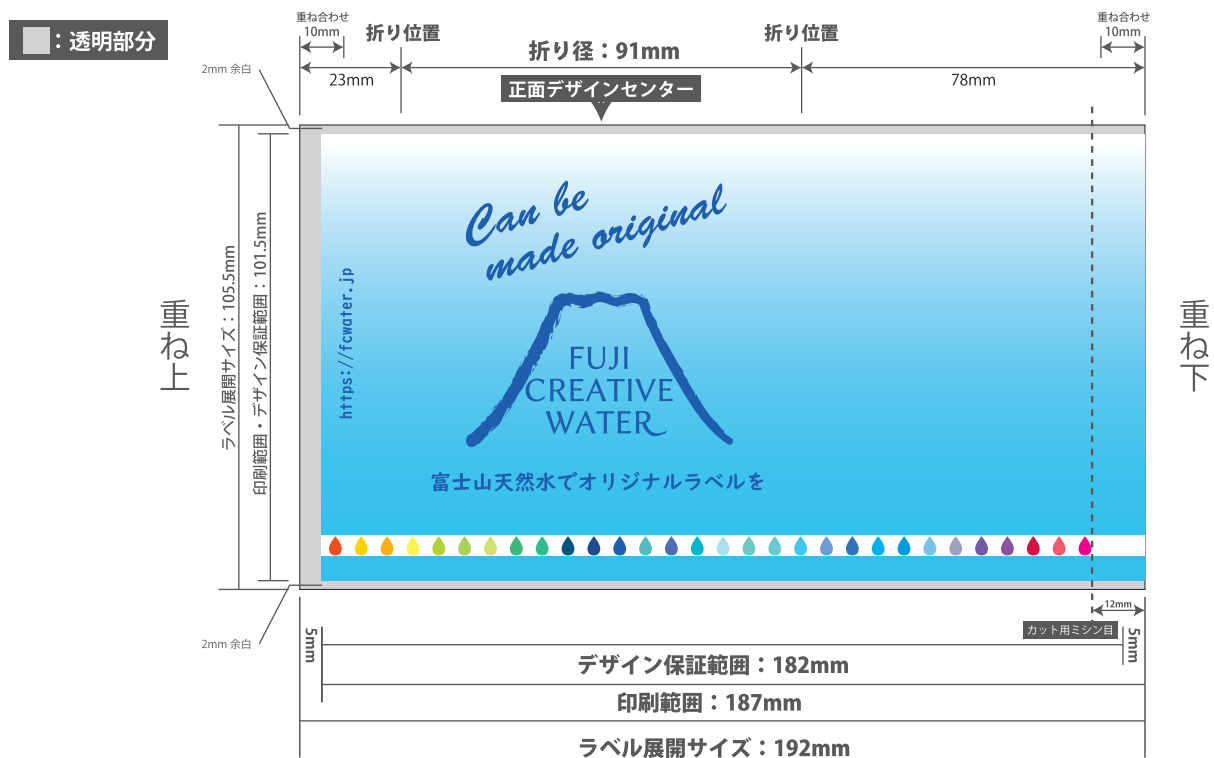
【白版】（白版レイヤーは編集の必要なし）



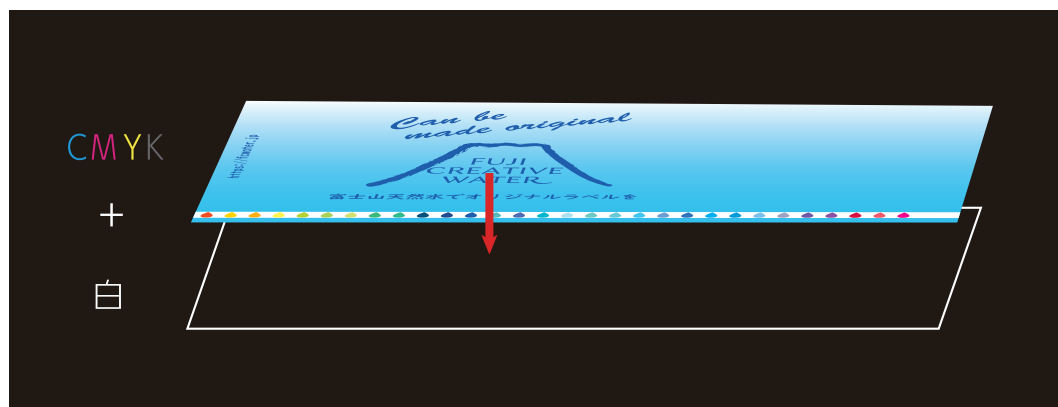
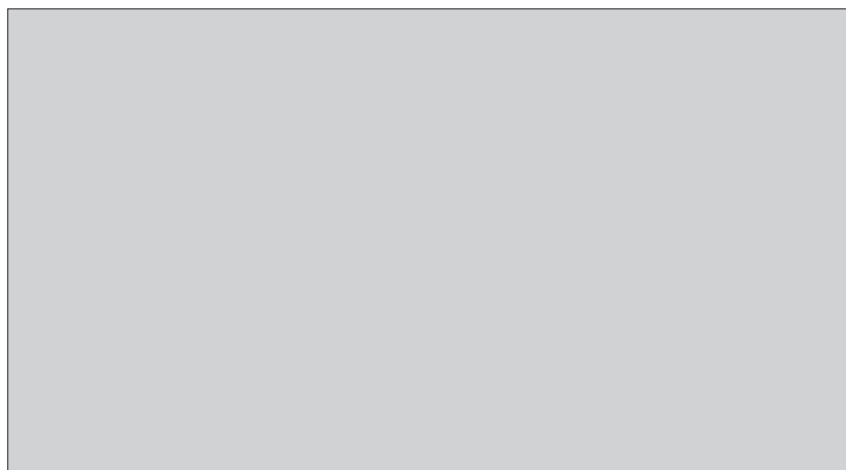
CMYK の下に白がきます。

【白版印刷なしの例】

【デザイン】



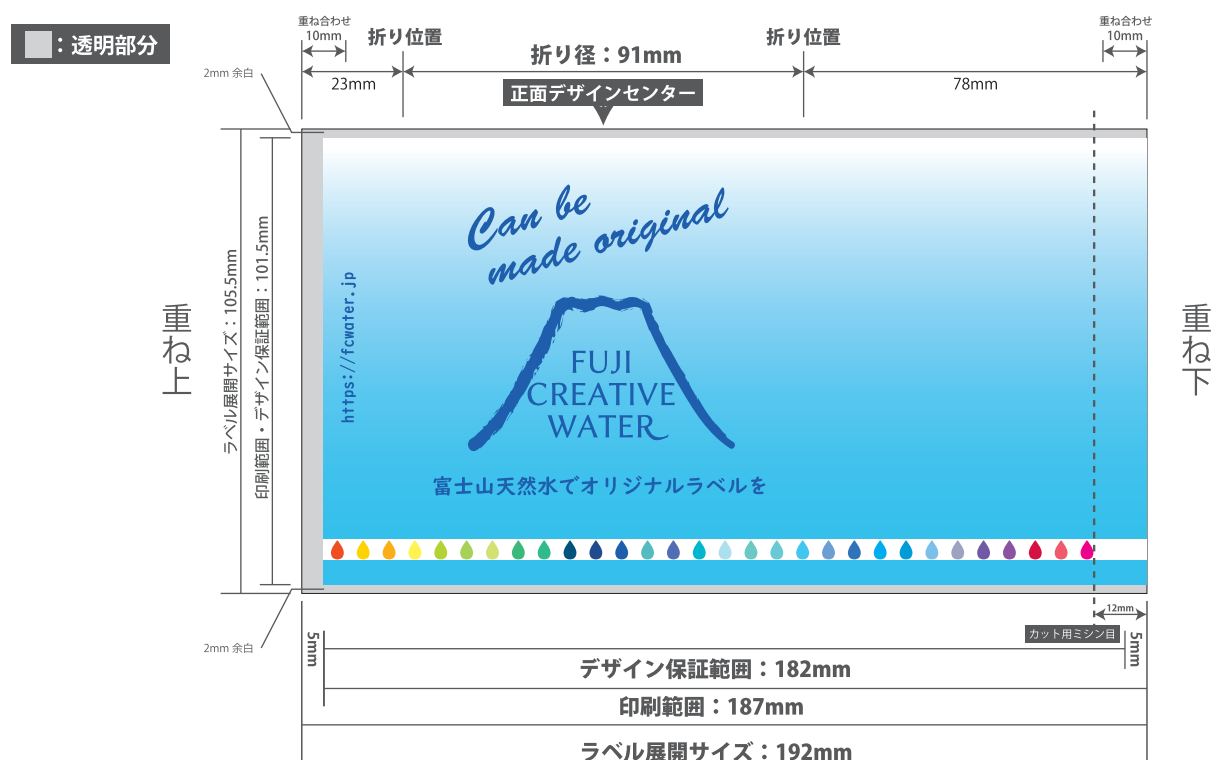
【白版】（全面白版指示は削除）



CMYK の下に白がきますが、白版なしの場合はCMYKのみです。

【一部分のみ白版印刷ありの例】

【デザイン】



【白版】（元の全面白版指示を削除、新規で白版の指定）

POINT

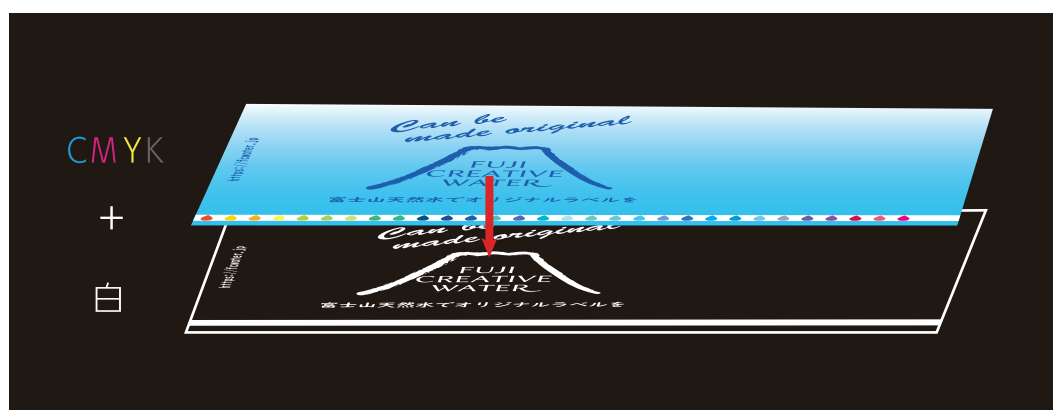
半透明にしたい場合は
M の割合（50%等）を
調整してください

※デザインと白版の
位置関係がずれないよう
ご注意ください。



白引きはマゼンタ 1 色 (M100 ~ 0%)
で作成してください。

※白でデータを作ると、どこが白なのか
わからないため、弊社では
マゼンタ (M100%) を白としています。



CMYK の下に白がきます。

■作成に関する注意点

【Ai ファイルについて】

- ・必ず指定のテンプレートをご使用ください
- ・デザインは[お客様デザイン]レイヤーに作成してください
- ・白版デザインは[白版]レイヤーに作成してください
- ・既存レイヤーのロック解除や削除はしないでください
- ・カラーモードは必ず CMYK に設定してください
- ・ラスタライズ効果設定は 300dpi 以上が推奨です
- ・オーバープリントは使用しないでください
- ・印刷範囲からはみ出る部分にはマスクをかけてください

【画像・線・文字について】

- ・画像は埋め込みで配置してください
- ・画像の解像度は 350dpi 以上で作成してください
- ・画像のカラーモードは CMYK に設定してください
- ・総インク量は 300 以内にしてください
※#000000 で作成したデータはインク量が 300 を越えるため、使用できません
- ・線幅は 0.3pt または 0.1mm 以上にしてください
- ・フォントは 5pt 以上が推奨です
※それより小さいと印刷が見えづらくなる場合があります
- ・フォントは必ずアウトライン化してください
- ・QR・JAN などのコードを配置する場合は、白版をつけてください
※背景透明の場合、読み取れない可能性があります。

【保存について】

- ・不要なデザインは全て削除してください
- ・全てのレイヤーを可視状態にしてください
- ・データは必ず ai 形式で、保存オプションは指定の 設定で保存してください▶
- ・短く簡潔なわかりやすいファイル名にしてください（ファイル名の指定はありません）
- ・ファイル名は文字化けしてデータが開けないことがありますので、半角英数字で保存してください
- ・必ずデザイン・白版確認用の PDF をご用意ください

【保存設定】

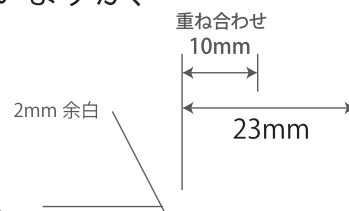
- ☒ ファイルプレビュー用に許可されたフォントを埋め込む
- ☒ PDF 互換ファイルを作成
- ☒ リンクファイルを埋め込む
- ☐ ICC プロファイルを埋め込む
- ☒ 圧縮を使用
- ☐ 各アートボードを個別のファイルに保存

■仕上がりに関する注意点

【色校正（オプション）をご利用のお客様へ】

大ロットの場合、半透明のデザインの場合は、お客様のイメージと製品の仕上がりには差異が発生することがありますので製造前に色校正（※有償）にてご確認ください。ことをオススメいたします。

色校正は簡易校正となります。実際に使用する機械・フィルムを使いますが、本番とは色味が若干異なる可能性もございます。



【コード類の画像をご利用のお客様へ】

JAN コードや QR コードは内容に間違いのないことを確認してください。

読取りが問題なく行えるサイズか確認してください。

白版印刷なしのデザインの場合、読み取れない可能性があるため、

配置する場合は、白版印刷ありを推奨しています。

※弊社ではデザイン内容に関するチェック・校閲等を行いません

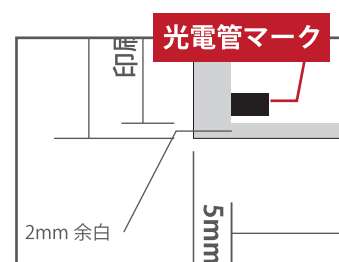
【その他注意事項】

●ミシン目付近にはデザイン要素を配置しないでください

カット用ミシン目の付近はミシン目位置がずれることがあるため、ミシン目付近にロゴやキャラクター等ミシン目がかかってはいけなデザイン要素は配置しないようご注意ください。配置する場合はミシン目の左右 5mm を開けて配置してください。

●透明ベースのラベルは光電管マークが入る場合があります

透明ラベルの場合、面の中心が出しにくいいためラベルのデザインがずれる可能性がございます。透明ラベルをご希望の場合、正しい位置でラベルをカットするための光電管マーク（W5mm×H3mm 黒または白色）を入れていただくことがございます。



●透明ベースのデザイン・濃い色を多く使用するデザインは軽微な傷がつきやすく、見えやすくなります

ボトル成型時に発生する軽微な傷や、製造工程で発生する傷がラベル装着した際に表面より見える場合もございます。ご納品後の傷による返品や補償は出来ませんのであらかじめご了承ください。

また、広い面積に濃い色を多く使用するデザインの場合、または色のない（薄い）透明ベースのデザインの場合、輸送中の振動等でラベル同士が擦れて傷がつきやすくなります。技術的に表面のコーティングができないため、上記のようなデザインの場合は擦れ傷が入る可能性があることをあらかじめご了承ください。また、ご納品後の傷による返品や補償は出来ませんのでこちらもあらかじめご了承ください。